

## 〔著書〕

81	末吉益雄(分担執筆). 鶏脳脊髓炎. 家禽疾病学. 第2版. 鶏病研究会編. 2021.3.
80	末吉益雄(分担執筆). 腸炎. 動物病理学各論 第3版. 文永堂, (2021.3.5).
79	末吉益雄(編集・分担執筆). 動物衛生の意義および目的. pp.1-2, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
78	末吉益雄(編集・分担執筆). 飼育動物の飼養形態と衛生学の変遷. pp.2-6, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
77	末吉益雄(編集・分担執筆). 家畜の飼養動向. pp.6-11, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
76	末吉益雄(編集・分担執筆). 放射性物質汚染の概要. pp.35-36, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
75	末吉益雄(編集・分担執筆). 豚の飼養管理と衛生. pp.86-105, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
74	末吉益雄(編集・分担執筆). 動物の衛生. その他動物の飼養管理と衛生. pp.135-145, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
73	末吉益雄(編集・分担執筆). 監視伝染病. pp.165-171, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
72	末吉益雄(編集・分担執筆). その他の疾病(豚). pp.218-221, 末吉益雄, 高井伸二(編), 動物の衛生. 第2版. 文永堂出版, (2020.3.1)
71	末吉益雄(編集・分担執筆). 衛生と疾病. 養豚用語事典. 日本養豚学会編. 創文 (2019.3.5)
70	末吉益雄. 腸腺腫症候群. 動物の感染症. 第四版 近代出版. p.184-186 (2019.3.1)
69	末吉益雄. 豚赤痢. 動物の感染症. 第四版 近代出版. p.179-180 (2019.3.1)
68	末吉益雄. 豚のサルモネラ症. 動物の感染症. 第四版 近代出版. p.178-179(2019.3.1)
67	末吉益雄. 豚の大腸菌症. 動物の感染症. 第四版 近代出版. p.177-178(2019.3.1)
66	末吉益雄. 鶏の大腸菌症. 動物の感染症. 第四版 近代出版. p.118-119(2019.3.1)
65	末吉益雄. 子牛の大腸菌性下痢. 動物の感染症. 第四版 近代出版. p.211(2019.3.1)
64	末吉益雄. 動物を衛るための研究. 臨床獣医. 36(1):2-3, 緑書房. (2019.1)
63	末吉益雄. 第25回 IPVS2018・2018年国際 PRRS シンポジウム参加報告. 臨床獣医. 36(12):33-37, 緑書房. (2018.12)
62	末吉益雄. 家畜の飼養動向. 動物衛生学. 文永堂. p.14-18 (2018)
61	末吉益雄. 家畜伝染性疾病の国内動向. 動物衛生学. 文永堂. p.51-71 (2018)
60	末吉益雄. 家畜の病傷事故と死産事故. 動物衛生学. 文永堂. p.18-21(2018)
59	末吉益雄. 豚流行性下痢 (PED) の世界的な流行. 動物衛生学. 文永堂. p.385 (2018)
58	末吉益雄. 飼養衛生管理基準. 動物衛生学. 文永堂. p.47-50 (2018)
57	末吉益雄. 豚の管理衛生. 動物衛生学. 文永堂. p.295-308 (2018)
56	末吉益雄. 豚の大腸菌症. 動物病理カラーアトラス第2版 (日本獣医病理学専門家協会 編). 文永堂. p.114 (2018.01)
55	末吉益雄. 豚赤痢. 動物病理カラーアトラス第2版 (日本獣医病理学専門家協会 編). 文永堂. p.115 (2018.01)
54	末吉益雄. 豚腸管スピロヘータ症. 動物病理カラーアトラス第2版 (日本獣医病理学専門家協会 編). 文永堂. p.116 (2018.01)
53	末吉益雄. 豚の腸腺腫症. 動物病理カラーアトラス第2版. (日本獣医病理学専門家協会 編) 文永堂. p.117 (2018.01)

52	末吉益雄. ヨーネ病 動物病理カラーアトラス第2版 (日本獣医病理学専門家協会 編). 文永堂. p. 118 (2018.01)
51	末吉益雄. 牛ウイルス性下痢・粘膜病 動物病理カラーアトラス第2版 (日本獣医病理学専門家協会 編). 文永堂. p.119 (2018.01)
50	末吉益雄. 豚流行性下痢. 動物病理カラーアトラス第2版 (日本獣医病理学専門家協会 編). 文永堂. p. 120 (2018.01)
49	末吉益雄. ロタウイルス性腸炎 動物病理カラーアトラス第2版 (日本獣医病理学専門家協会 編). 文永堂. p.121 (2018.01)
48	末吉益雄. 第8回 APVS(アジア養豚獣医学会)参加報告. 臨床獣医. 35(12):26-31, 緑書房. (2017.11)
47	末吉益雄. 動物の衛生. 動物の飼育管理学. 文永堂. P.75-85 (2017)
46	末吉益雄. イノシシ調査疾病. 野生獣と家畜の伝染病伝播防止に向けての体制整備取組事例と衛生検査成績-家畜の健康を守るために-. 家畜衛生対策推進協議会. p.42-54 (2017.3)
45	末吉益雄. イノシシ・シカの外貌及び内蔵のカラーアトラス. 野生獣と家畜の伝染病伝播防止に向けての体制整備取組事例と衛生検査成績-家畜の健康を守るために-. 家畜衛生対策推進協議会. p.B-1-B-22. (2017.3)
44	末吉益雄. 感染症の制御. 動物感染症学. 近代出版. p. 49-60 (2016). 2016.4.15
43	末吉益雄. 豚丹毒. 動物感染症学. 近代出版. p. 119 (2016). 2016.4.15
42	末吉益雄. 萎縮性鼻炎. 動物感染症学. 近代出版. p. 120 (2016). 2016.4.15
41	末吉益雄. 豚のサルモネラ症. 動物感染症学. 近代出版. p. 121 (2016). 2016.4.15
40	末吉益雄. 豚赤痢. 動物感染症学. 近代出版. p. 122 (2016). 2016.4.15
38	末吉益雄. 動物実験の対象(ブタ). 大・中・小動物実験プロトコル. 宮崎大学動物実験プロトコル編集委員会, 宮日文化情報センター発行, p.32-34 (2016. 3.)
37	末吉益雄. 動物の飼養管理・基本的手技(ブタ). 大・中・小動物実験プロトコル. 宮崎大学動物実験プロトコル編集委員会, 宮日文化情報センター発行, p. 52-54 (2016. 3.)
36	末吉益雄. 鶏脳脊髄炎. 家禽疾病学. 第一版. 鶏病研究会編. p.60-63(2015).2015.3.1
35	末吉益雄. 畜産物の衛生 新編家畜衛生ハンドブック. 養賢堂. p.392-399(2015)
34	末吉益雄. 豚の一般疾病. 新編家畜衛生ハンドブック. 養賢堂. p.232-252(2015)
33	末吉益雄. 豚の飼養衛生と衛生. 新編家畜衛生ハンドブック. 養賢堂. p.45-59(2015)
32	末吉益雄. 養豚版 下痢攻略ハンドブック 第1章 消化器の生理と下痢対策の基本. 現場で知っておきたい腸管の役割と下痢発生のメカニズム. 養豚界. 臨時増刊号:20-24(2014). 緑書房(2014.7.1)
31	末吉益雄. 飼養衛生管理基準とバイオセキュリティ. 牛病学. 第三版 近代出版. p. 208-212 ( 2013).
30	末吉益雄. 腸腺腫症候群 .動物の感染症. 第三版 近代出版. p. 195-196 ( 2011). 2011.5.10
29	末吉益雄. 豚赤痢. 動物の感染症. 第三版 近代出版. p. 189-190 ( 2011). 2011.5.10
28	末吉益雄. 豚のサルモネラ症. 動物の感染症. 第三版 近代出版. p. 188-189 ( 2011). 2011.5.10
27	末吉益雄. 豚の大腸菌症. 動物の感染症. 第三版 近代出版. p. 187-188 ( 2011). 2011.5.10
26	末吉益雄. 子牛の大腸菌性下痢 .動物の感染症. 第三版 近代出版. p. 126-127 ( 2011).2011.5.10
25	末吉益雄. 鶏脳脊髄炎.カラーマニュアル 鳥の病気. 第7版. 鶏病研究会編. p.42-45(2010).2010.5.1
24	末吉益雄. 腸炎.動物病理学各論 第2版. 文永堂. P.176-195 (2010.3.31.)
23	末吉益雄. 鶏脳脊髄炎. 新獣医学辞典. チクサン出版. p. 1008 (2008.1.25.)
22	末吉益雄. 豚腸管スピロヘータ症. 動物病理カラーアトラス. 文永堂. p.99(2007)
21	末吉益雄. 豚の腸腺腫症. 動物病理カラーアトラス. 文永堂. p.98(2007)
20	末吉益雄. 豚の大腸菌症. 動物病理カラーアトラス. 文永堂. p.97(2007)

19	末吉益雄. 豚流行性下痢. 動物病理カラーアトラス. 文永堂. p.91(2007)
18	末吉益雄. 鶏脳脊髄炎. カラーマニュアル 鳥の病気. 第6版. 鶏病研究会編. p.42-45(2006).2006.5.30
17	末吉益雄. 豚赤痢. 獣医感染症カラーアトラス. 文永堂. p. 143-145 (2006)
16	末吉益雄. ブラキスピラ. 獣医感染症カラーアトラス. 文永堂. p. 141-142 (2006)
15	末吉益雄. 豚赤痢. 動物の感染症. 第二版 近代出版. p. 190 (2006)
14	末吉益雄. 子牛の大腸菌性下痢 .動物の感染症. 第二版 近代出版. p. 133 (2006)
13	末吉益雄. 鶏脳脊髄炎. 鳥の病気. 鶏病研究会. p.42-45(2006)
12	末吉益雄. 豚の管理衛生. 獣医衛生学. 文永堂. P.185-193 (2005)
11	末吉益雄. 豚赤痢. 動物の感染症. 近代出版. p.231-232 (2002)
10	末吉益雄. 子牛の大腸菌性下痢 .動物の感染症. 近代出版. p.137-138 (2002)
9	末吉益雄. 動物生産の現場に係る法規. 動物の衛生. 文永堂. p.99-109 (2001)
8	末吉益雄. 新興・再興感染症(人獣共通伝染病を中心に). 動物の衛生. 文永堂. p.110-112 (2001)
7	末吉益雄. 監視伝染病以外の感染症 ウイルス病. 動物の衛生. 文永堂. p.78-87 (2001)
6	末吉益雄. 監視伝染病 ウイルス病. 動物の衛生. 文永堂. p.62-70(2001)
5	末吉益雄. 豚の管理衛生. 家畜衛生学. 文永堂. p.202-208 (2000)
4	末吉益雄. 豚赤痢. 獣医感染症カラーアトラス. 文永堂. p. 274-280 (1999)
3	末吉益雄. 豚生殖器・呼吸器障害症候群. 動物病理学各論. 文永堂. p.147 (1998)
2	末吉益雄. 豚の腸腺腫症. 獣医病理組織カラーアトラス. 文永堂. p. 88 (1998)
1	Sueyoshi M., M. Nakazawa, and S. Tanaka. A chick model for the study of "Attaching and effacing Escherichia coli" infection. pp.99-102. In Mechanisms in the Pathogenesis of Enteric Diseases(Paul, P. S., D. H. Francis, and D. A. Benfield, eds), Plenum Press, New York, (1997)